

# 八戸工業大学の教育研究へのネットワーク環境の活用法

大 津 正 道\*・デービッド・ライリー\*\*・坂 尻 直 巳\*\*\*

## Applications of Network Environment to the Education and Research in HIT

Masamichi OHTSU\*, David RILEY\*\*, Naomi SAKAJIRI\*\*\*

### Abstract

The aim of our study is to investigate various applications of Internet resources and LAN systems to education and research at Hachinohe Institute of Technology (HIT). First we show the outline of our research activities in the 2 years from 1996 to 1997, in which we emphasize the practical uses of the Internet for education. Next we present two case studies of applications to special spheres of research activities: a small networking system in HIT using free Unix (Linux), and applications to the study of seismology. Another case study on the applications to historical research will be coming in the near future.

**Keywords:** Internet resources, LAN, network, Linux, multimedia education

### 1. はじめに

この研究報告は、本学（八戸工業大学）教育研究へのインターネットの利用に関するライリー/大津の共同研究（1996年）を継承するものであり、これに坂尻を加えた3名が、歴史研究・英語教育・地震学研究におけるインターネット資源と学内LAN環境の有効利用法をケース・スタディとして開発することをめざした2年間の共同研究の成果である。

はじめに、我々がこの共同研究を構想し始めた経緯を確認しておこう。この研究の出発点になったのは、1994-96年に公表された以下の2つの論考である。

- (1) D.A. Riley, Discovering the World of Internet, *News Network*, (計算機室広報, 八戸工業大学) Vol. 4, No. 1 (1994.3), pp.

23-45.

- (2) D.A. Riley/大津正道, 八戸工業大学の教育・研究におけるインターネット活用法の研究—特に英語教育と歴史研究を焦点として—(Research into practical uses of the Internet for education at Hachinohe Institute of Technology—Special focus on English education and Historical research—), *News Network*, Vol. 6, No. 1 (1996.3), pp. 21-34.

(1) は、ライリーが自分の研究室のパソコン (Mac) から学内デジタルフォン経由でインターネット接続環境を構築したうえで、画像を伴わないキャラクター (文字) ベースながら、LAN環境の整っていた情報システム工学研究所 (以下では情報研究所と略称) 以外からでもインターネット情報を利用できることを示した、開拓的な成果である。(2) は、ウェブ・ブラウザである Netscape Navigator による画像と日本語の表示がほぼ完全になった (v.2.0.1) のを受けて、ライリーと大津が、学内におけ

---

平成10年10月16日受理

\* 総合教育センター・助教授 (Part 1, 2, 5)

\*\* 総合教育センター・講師 (Part 3)

\*\*\* 土木工学科・教授 (Part 4)